

施設番号	66-0406
施設名	れんげ南街保育園
施設所在地	東京都東大和市南街4-3-1
法人名	社会福祉法人蓮花苑
活動日時	令和6年7月8日(月)
クラス名(年齢)	さくらぐみ(5歳児)
年間テーマ	氷の探究活動

〈テーマの設定理由(子どもの姿)〉

・水遊びを行っている中で色水や氷に興味をもつ。
 ・色々な素材、色を使って色のついた氷をつくってみよう。(色、形、大きさなどに興味を持ち探究活動を行う。)

2、活動スケジュール

色水遊びを行う中で氷に興味を持つ。

3、環境をデザインする(活動のために準備した素材や道具、環境設定)



牛乳パック、透明のカップ、絵の具、食紅、水風船、冷凍庫

4、探究活動の実践

〈活動内容〉

色水遊びを行う中で色を混ぜたり透明カップ、牛乳パックなどに移したりしながら楽しむ。絵具や食紅で色を付けていたのを見て、「これを凍らせたらどうなるの?」という質問に子ども達が氷に興味を持った。水風船でも遊んでいたのをこの中に入れて凍らせることができるのか子ども達の探究活動が始まった。

〈活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり〉

子どもの言葉・姿	写真
子①「食紅と絵の具では色がちがう」「食紅は透明の色になるね」 子②「絵の具は透明じゃないね」。「混ぜたらどうなるのかな?」 子③「絵の具の色になった」 子④「氷も透明だよ」 保:「確かに氷は透明だよ」 子⑤「食紅と絵の具のも凍るのかな?」 子①「カップだけでなくこの水風船にも入れてみたい!」 保「どうなるんだろう」 子②「丸いのでできるのかな」 子③「割れないのかな?」 子全「やってみよう」 子④「凍らせたので絵が描けるのかな?」「いろんな氷を作ってみようね。」と色水遊びから発展していく。	 

5、振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

・色水遊びや混色遊びは日頃から行っていた。その中で色水の色の変化に気付いたり、氷に興味を持った。色水をどのように作るかなど自分たちで見つけられるように環境を作っていく。また氷なども色々な形で作ったり探究活動を進められるようにしていく。冷凍庫だけでなく冬は戸外で作れるようにしていく。